

### 会員を募集中

中之島村文化懇話会(仮称)

村内在住の、絵画・書道・創作・詩・短歌・俳句・川柳など文学・美術に興味をお持ちのかたがたを対象に、機関紙を発行したり、作品展を開催したりして、お互いに親睦と研さんを図るために、中之島村文化懇話会(仮称)設立を計画しています。この趣旨にご賛同のかたは、大字中之島「堀順平(TEL6-2156)」さん方へお申し込みください。

中之島村文化懇話会(仮称)  
設立発起人会  
代表 大竹 新一

### 勤労者に住宅 資金貸付制度

(申し込みは3月15日まで)

○貸付対象者  
自分で住むための住宅を新築、増築、購入しようとする勤労者  
○貸付条件  
貸付額……三十万円以上、十万円きざみで百五十万円まで  
利率……年八・〇パーセント  
償還方法……十年以内の元金均等月賦償還(ボーナス時増額返済も可能)  
その他……住宅金融公庫融資の併用可能  
○くわしくは、役場産業課または県商工労働部労働課へどうぞ

### 献血ありがとう

5回以上献血者を表彰

駒崎雄司(大 口) 吉村正一(中野中)  
菲沢銀一(中条第二) 原銃之助(中条第一)  
中村博光(中条中) 栗林 正(中条中)  
皆川重祐(中新第一) 松井征一(下 沼)  
石坂文恵(役場勤務) また、献血事業に積極的に協力くださった、雪印乳業(株)長岡工場が、団体で表彰されました。

### おいでください

#### 第2回村民作品集

\*2/20(金)~2/24(火)まで  
\*午前9時~午後6時(24日は午前中)  
\*会場……中之島村公民館  
\*種目……書道・日本画・洋画・写真・工芸(風・はりえ・和紙人形・彫刻・彫塑など)

●くわしくは、広報なかのしま12月号または公民館へ照会ください。  
◇皆さんのふるっての出品とおいでをおまちしています◇

### 出張税務相談 の一時お休み

所得税や贈与税など国税全般の相談、苦情について、昨年10月から毎月定期的(15日)に開設している「出張税務相談」は、2月および3月が所得税確定申告のため、休ませていただきます。  
三条税務署



作品展開催中の21日、22日は、映画のつどいを行います。

友達やご家族でおいでください。  
●21日(土)午後1時~3時  
マンガ 劇映画  
●22日(日)午前10時~12時  
劇映画 家庭教育映画 マンガ

### 「農耕用軽油免税証」 の出張交付について

三条財務事務所では、つぎの日程により免税証の出張交付を実施しますので、この機会に手続きをしてくださいます。  
2月25日・26日  
午前九時三十分~午後三時  
25日 午前 中之島・上通地区  
午後 中 通 中野学区  
26日 午後 中 条 西所学区  
午後 信 条 三沼学区  
と 中 之 島 村 公 民 館 二 階 大 広 間  
1 継続申請のかた  
イ 免税軽油使用者証を持参  
ロ 申請者の印鑑を持参(共同の場合は全員の印鑑)  
ハ 耕作面積証明(早めに税務課からもらってください)を持参  
ニ 軽油を購入する販売店を決めてくること。  
ホ 使用者証の有効期間が切れても、機械の変更がなければ期間の延長ができるので、使用者証を持参  
2 新規申請のかた  
イ 機械の所有証明書(税務課)または機械の販売業者の証明書を持参  
ロ その他は、継続申請の口、ハ、ニに準じます。

### お詫び

昨年十二月十日付けの「国保だより」で「高価のかけにレンコン病」云々とお伝えいたしました。が、このレンコン病については、医学的にその存在が証明されておりません。

この点、配慮がかけられておりましたので、おわびの方々補足させていただきます。

# 賀正

## 広報 なかのしま

1月号 南蒲原郡中之島村役場



### 人口のうごき

1月1日現在	
( )内は12月1日との比較	
人口	11,250人 (-12)
男	5,525人 (-9)
女	5,725人 (-3)
世帯数	2,190 (-3)

今月の納税 ▽村民税(第4期分) ▽保育料(1月分)

たばこは村内で買しましょう

編集と発行、中之島村役場企画課





老境 田辺久四郎さん(66)  
中条第一 無職

不況だ、福祉だ、と種々の論議が交されるうちに、昭和五十一年元旦の朝日が昇る。さんさんとして陽光は大地に溢れて、正に希望の夜明けだった。  
「上見れば、欲しい欲しいの星だらけ筈着て暮せ、己が心に」  
幸いにして、現在、福祉活動の一端に参加させていただいていることは、終生の喜びである。  
この機会をおろそかにせず「真の福祉とは何か」と、自らに問いただし、人と人とのふれ合いの中に真実を求めて、悔いなき日々を過ごしたいと思う。  
「希望のもてる世の中、生きていてよかったと思われ世の中、いたわり、励まし合える人間同志に」  
愛なき社会は暗黒であり  
汗なき社会は墮落である  
私の好きな言葉です。

一日も早く野外施設を  
棚辺友明さん(39)  
中之島第2 鮮魚店主

不況、不況で明け暮れた50年も過ぎ、新春の51年を迎え、今年こそ活気に満ちた年になってほしい気持ちでいっぱいです。しかしながら、まだまだ不況色が強く、私達自営業者にとっても商売がやりにくい年の様に感じます。

村におかれても、財政が苦しい、との報道を聞いております。が、是非お願いしたい事は、工場の誘致をして村内の若者が安心して働ける職場を作ってもらいたいことです。

また、スポーツマンの一人として若者達の集まりに私も参加していますが、常に話題になる事は、私達が自由に使えるスポーツ施設が一つもない事です。

長岡市や三条・燕市のグラウンドの様に、河川敷利用で是非スポーツ広場を作ってもらいたい。

若い人達が、安心して働ける職場と若いエネルギーを分散させる施設があれば、今後、ますます躍進する中之島村になると思います。



消費者に喜ばれる中之島ぶどうに一層の努力を続けたいものです。

昭和51年………  
ことしはこ



故郷の未来を自分の目で  
吉田清文さん(24)  
中興野 会社員

長岡市の会社に勤めて三年。毎日が同じことの繰り返しです。  
私は、果して中之島村の住人なのだろうか、と思うことがあります。「八時間眠り、八時間は会社に勤め、残りの三分の一だけ中之島村の住人なのではないか」。こうした思いは、私と同年代の人なら誰れでも感じていることではないでしょうか。「中之島村」とはなにか。もう一度見なおす必要があると思うのです。中之島村に住んでいて何もしらない。どんな人々が村行政を行っているのか。予算の使い方は。交通環境は、まだまだ知らない事が数多くあるのです。  
一人前の大人として、自分の住む部落、村、そして県や国を私は今年から、自分の目でしっかりと見つめなおしてみたいと思います。

青少年の  
健全育成を  
今井和子さん(31)  
高畑 会社員

今年も、農業と工員の二足のわらじをはいて「善の心」をモットーにやっていきたい。家族の健康を願い、そして協力しあって稲作を主力に、桃と苺の栽培を前向きに取り組んで行こうと思っています。

村への要望は、小学校統合時のスクールバスの送迎について、私たちの地域(高畑・杉之森)の児童もバスに乗せてもらいたいことです。

近距離とは申せ、統合校までは、人家の無い農道を通学しなければならず、冬期間の豪雪、吹雪時の少人数児童の登下校の安全を考えると、私達父兄は大変不安です。

青少年の犯罪が激増している昨今、次代をにう青少年の健全育成のために、村が積極的に施設の充実と指導をされる事をお願いします。

このことにより、明るい村づくりの未来像がおのずと開けてくるのではないかと思います。



一人前の大人として、自分の住む部落、村、そして県や国を私は今年から、自分の目でしっかりと見つめなおしてみたいと思います。



農業に生きがいを  
大倉徳一さん(53)  
西野 農業

うまい米づくり、多収穫、米生産調整と目まぐるしく変った農政の下で、農業を指し、農業に生きがいを求めて、村、農協等の指導のもとで、ぶどう栽培を始めて早や六年目を迎えるようとしています。  
果樹は園芸と申す如く芸であり、何も知識経験のない者にとつては大変な苦労を求められましたが、良い指導者に恵まれ、また、家族の一致団結した努力で昨年から収穫も始まり、共同出荷で市場にだしてあり、「米プラスぶどう」で生活の安定に淡い希望を生まれてきました。

………1976年  
んな年に

インフレ、不況に苦悩した五十年。今年こそは明るい年であってほしいですネ。  
年の初めにあたり、十人の方々から今年の抱負や希望、村に望むことなどをひとことずつ寄せていただきました。



充実した51年を  
堀 恵子さん(15)  
中之島第5 中之島中3年

私にとって、51年の最初に遂げなければならぬ目標は……やはり目の前に迫っている高校入試であろう。高校、大学を目指す人達にとって充実した51年を向かえることが、大きな課題となっている今、これからの残された日々を、勉学にいっそうの励みをかけ、厳しさを増してゆかねばならないと思っております。

中之島村の現状は、見附バイパスの完成、そして何年かの中には、高速自動車道路、上越新幹線の開通、と、めざましい発展を遂げるかと思っております。この中之島村という、のびのびと育った心、気持、風俗、そして中之島村のかけがえのない自然が、いつまでも保たれてゆくことを村に望み、これからの人生、横道にそれることなく歩んで行きたいと思っております。



心のふれあいを大切に  
田辺良太さん(29)  
大 農業

不況、インフレ、値上げと、労働者、消費者にとつて相変らず暗い年でした。私達農家も、農業資材、生産資材の高騰の中にあつて、久びぎと、相変らず苦しい経営を余儀なくされております。今年是非とも、希望の兆しが見える年であつて欲しいと思つております。また以前は、十年一昔などと言われてきましたが、きのうの事すら過去となりつつある程めまぐるしく過ぎ行く今日、せめて気持ちだけでもゆつたりと、そして人との心のふれあいを、大切に頑張つて行こうと願つております。  
村に望むことは、優良農地の保全に努めてもらいたいことです。新幹線、高速道、バイパス等の建設で上通地区では大幅に農地がつかれました。地域社会の発展からすればやむを得ない事もうなづけますが、我々の命でもある農地を、これ以上つぶさないでほしい。



後輩は新校舎に入れて幸せ  
原田 浩くん(12)  
鶴ヶ曽根 中之島小六年

いよいよ今年には中学生です。六年間の小学校教育を土台にし、がんばって充実した年にしたいと思つています。  
去年は、家の前に新しい小学校の建設が決つて、埋立ても終わりました。今年から校舎の建設が始まる、と聞いています。ほくは、残念ながら新しい校舎には入れませんが、後輩がうらやましいくらいです。  
四月から、中学校へは、自転車通学となりますが、現在の道路では交通量が多く危険だと思つています。自転車専用道路をつくり、交通事故のなないようにしてもらいたい。

人間性を見い出したい

内藤有二さん(16)  
赤小沼 高校2年

であるが、それ以上に、人と人とのつきあひを通して、自己の人間性をより多く見い出してゆきたいと思つております。そして何事に対しても前向きな姿勢で進んでゆきたい。  
村への要望としては、よい意味での近代的な習慣を安易に受け入れられるような地域社会を形成して発展性のある村にしていってほしい。



今年には高校生活も最後であり自分の進むべき道を選ばなければならぬ大切な年でもある。  
私としては、学習にとりくむことは無論のことであるが、

「消費は美德」から「節約は美德」へと、世の中の動きも大きく変わりました。

私達の生活の中から、無駄をはぶき、くらしを守る運動も活発化し、生活改善の申し合わせもようやく村内全体の動きとなってきました。冠婚葬祭のつきあひも、世につれて変わるのには当然でしょうが、交際が、人と人との間を温かく円滑に保つためのものであるとすれば、現状は、あまりに原点からはずれてしまったように思います。

ひと昔前、私達の親がしていた合理的なくらし方が思い出され、反省させられます。「古きをたずねて新しきを知る」。同じ節約をするにもただ自分の利益だけでなく、それが社会全体の利益とどうつながるかも考えたい。

それが主婦として、ささやかながら社会に役立っているという喜びにつながると思うからです。



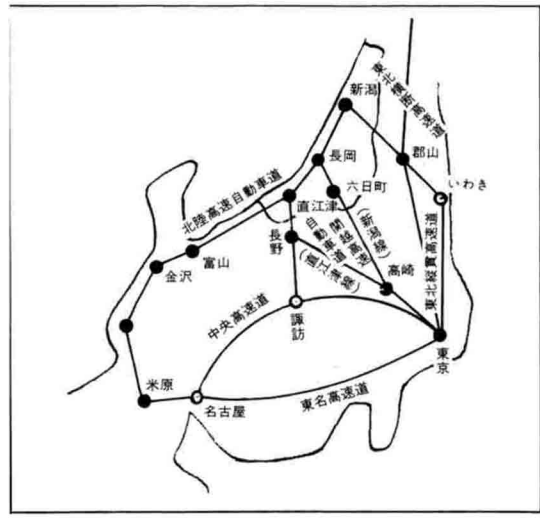
無駄のない生活を  
岩本智恵さん(42)  
中野東 主婦

# 北陸高速道建設始まる

北陸高速自動車道の建設がよいよ始まりました。

この高速道が中之島村にかかるとは、大口から猫興野までの四・二六キロですが、高速道本線と国道8号線の二カ所のインターが建設されることから、工事はかなり大がかりなものとなります。

すでに、中之島インターから南側(南工区)では、本線の工事用道路の建設に入っており、北側(北工区)でも施工業者が



**交通事故には十分注意**

国道8号線と本線を結ぶ工事用道路と8号線インター建設には、国道8号線を横断しなければならず、最盛期にはダンプの往来が一日三千台にも達するといふことで、交通事故の発生が懸念されています。

今冬中に、工事用道路を完成させる計画から、当面国道の横断箇所は信号機四基が設置されます。が、一層交通量が増加することから、歩行者、通学者、ドライバーにおかれては、交通事故には十分注意されるようお願いいたします。

# ほとんどの手術にハリ麻酔が

私達は、上海の病院でハリ麻酔の実際を見てもらう事になった。白衣に帽子といういでたちで手術室に入ると、中は胃潰瘍の手術の最中で、既に胃はとり出され、切開を終えてぬわれているところであった。

ところが手術台上の患者は、入ってきた我々に笑顔で会釈をしてくるのである。話しには聞いていたものの、その実際を目のあたりにして我々はただ驚くばかりであった。

手術中に缶詰やお茶を……消化器系の手術はともかく、



長さ2,400kmにもおよぶという万里の長城



手に帽子をもっているのが筆者

他のたとえば肺の手術などでは、食事さえ取りながら手術が続けられるという。

中国ではほとんどの手術がこのハリ麻酔で行われる。身体の一部にハリを刺したただ身に麻酔がかかり、それでいて意識にはなんら影響がないのである。西洋外科医学の麻酔薬に對するこの利点は、出血が少なく回復が早いということ、これらすべて中国古来の医法に基くものだということがあった。また、それと同時に漢方薬の研究も盛んで、現在では注射液などにも広く使用されているとのことで、病院で薬草を積極的に栽培しているあたり、さすが中国らしい感じがした。

# 船中記 ④ 農民の訪

杉之森 山本一成

馬が四頭並んで走れるように作られており、長さは約二四〇〇キロメートルで日本列島の二倍にあたるという。この長城の中を、アリのようには歩いている我々は一体何なのだろう。そしてこんなとてつもないものを作り上げた中国人というのは、おそらく何百年という単位で生きていけるのではないか、ふとそんな感慨にとらわれたのだ。

# 万里の長城

北京の町をはずれ、バスに揺られる事約二時間半。今まで一度も目にしなかつた山が見える。山水画などに出てくるあの岩山である。やがて岩山の峰々に、巨大な竜が横たわったような姿で、万里の長城が見えてきた。知られていないように春秋戦国時代に辺境を防ぐためその一部を築き、その後、始皇帝が大増築を行ってこの名を称したといわれる。階段をのぼると日なたの匂いがし、歴史の重みを一足ごとに感じる。両壁をレンガで積み、片方は弓を射るための凹が規則正しく入っている。通路は

# 昭和五十一年度 優良無事故運転者の表彰



運転免許証の交付をうけて、七年、十五年、二十年、三十年と無事故であった人を表彰します。

二月四日までに、見附地区交通安全協会事務局または協会支部へ上申の手続きをしてください。

くわしくは、安全協会事務局(二二二二二)へどうぞ。

# 文芸なかのしま 生活の詩 第六号できる

村民の文芸活動発表の場としてつくられた冊子「生活の詩」第六号がこのたび発刊されました。

この文芸詩発行は、中之島村教育委員会・社会教育係が、村民の文芸活動普及と振興をはかるために始めた事業で、今回で第六号となりました。

# お産して

中条新田 二児の母

あかちゃんが生れて十日余りのことです。私の横にねむって

いるあかちゃんに、上の子が「目が見えないのかなあ」といながら、小さな手を顔の上にあたり、大人のまねをして「早く大きくなってほくといっしょに遊ぼうよア。あかちゃんはいっしょになつたら大きくなるの、母ちゃんはいっしょ病気が良くなるの、早く良くなって保育所へむかえて来て……」

私は、ふと目がしらが熱くなつた。この子に思うこともしてやれず、早く日数の経つのを心に願いながら、元気で働きたい気持ちで一杯です。

冬はまたまたからから

交通事故には十分注意



# さけましょう 急発進 急ブレーキ 急ハンドル

年末・年始にかけて県下全般に好天に恵まれ、村民のみなさんよいお正月を過ごされたと思います。しかし、一年中で1月、2月は最も寒い季節で、雪が降り、道路が凍結するため、思いもよらない交通事故が起こるおそれがあります。また、寒さや降雪のために車の機能が視野が悪くなるばかりでなく、スリップしやすくなりますので、ドライバーも歩行者も、十分に注意して、交通事故を防止しなければなりません。

とくにウィンタースポーツのシーズンにあたり、スキー、スケートなどのためのマイカーの交通量の増加から、危険なスリップ事故、追突事故に発展するケースや、死亡事故につながる飲酒運転による交通事故の発生が予想されます。

冬はこれからです。十分注意しましょう。

また、自動車・原付とも積雪・凍結道路を運転する場合、スノータイヤまたはチェーンを用いないと違反になります。

# ありがとう! 赤い羽根

幸せでありたい。と願う心は、だれでも同じです。しかし、世の中には、たとえは体の不自由な人や、独り暮らしのお年寄りなどのようにそれを自分だけでは果せない人びとも残されています。

こうした人たちに、すこしでも多くのおもひやりをお届けしよう、というのが、赤い羽根共同募金のたすけあいの心です。

昨年十月より実施しました赤い羽根共同募金運動も、村民のみなさまの温かい善意により、五十一万三千九十六円もの募金を

いただきました。

よせられました。お金は、県共同募金会へ二十八万一千八百円が納入され、地域の実情に応じて配分されます。残りの二十三万一千二百九十六円は、歳末助けあい援助金として、村内の生活に恵まれない在宅困難者や施設の人たちの年越資金として配分されました。

内訳は、生活保護世帯、重症障害者、精神病院入院者、施設入所者などの個人に十四万円。心身障害児施設や老人ホームなどの施設に九万一千二百九十六円が配分され、それぞれお役に立って感謝されております。

ご協力ありがとうございました。